

※間違えや記入もれが多い箇所をピックアップしました。

令和7年8月 作成

栄養管理報告書（保育所・幼稚園等）

江東区 保健所長 殿

列幅や余白、行間を変更するときは、既存の文字が消えたり、ページが変わったりしないように！

年 月分

施設名  
所在地  
管理者名  
電話番号

両面印刷(左右開き) 2部 提出

返信が必要な方:3部+  
切手を貼った返信用封筒

提出先:栄養指導担当

×個人名(異動があるため)

I 施設種類	II 食事区分別 1日平均食数及び食材料費			III 給食従事者数			
1 幼稚園 2 保育所(認可) 3 認定こども園 4 その他 (認証保育所等)		食数及び食材料費					
		定食		離乳食			
		朝食	食	円			管理栄養士
		昼食	職員食	食			栄養士
		補食	含む	食			調理師
		夕食		食			調理作業員
		合計	職員食含む	食			合計
再掲	職員食						
食事区分ごとの算出が困難なとき: 合計に「全〇〇円」と記入							
【年1回】 1 対象児童の年齢 2 身長 3 体重 4 幼児身長体重曲線による体格の把握 5 身体活動状況の把握 6 食物アレルギー 7 食物アレルギーへの対応							
3歳以上児のいる施設は身長体重曲線による体格の把握をして栄養管理をしましょう。 10%未満が望ましい。身長体重曲線以外(カウプ指数)で算出している場合は「無」							
4 幼児身長体重曲線による体格の把握(3歳以上6歳未満) □ 有 (肥満 小数第1位%まで) やせ 小数第1位まで □ 無							
5 身体活動状況の把握 □ 右 □ 無							
6 食物アレルギー 4 幼児身長体重曲線による体格の把握(3歳以上6歳未満) (健診結果) □ 有 (肥満 % やせ %) □ 無							
7 食物アレルギーへの対応 □ 有( □ 除去 □ 代替 □ その他( ) ) □ 無							
該当する□に”✓”							
V 給食の概要							
1 給食の位置づけ		□ 利用者の健康な体づくり □ 望ましい食習慣の確立 □ 十分な栄養素の摂取 □ 安価での提供 □ 楽しい食事 □ その他( )					
1-2 幼児の健全な発育発達に給食が機能しているか		□ 十分機能している □ まだ十分でない □ 機能していない □ わからない					
2 給食会議		□ 有 (頻度: 整数 回/年) □ 無					
2-2 有の場合		構成委員 □ 施設長 □ 管理栄養士・栄養士 □ 調理師・調理担当者 □ 保育士・教諭 □ 看護担当者 □ その他( )					
3 衛生管理		衛生管理マニュアルの活用 □ 有 □ 無 衛生点検表の活用 □ 有 □ 無					
4 非常時危機管理対策		①食中毒発生時マニュアル □ 有 □ 無 ②災害時マニュアル □ 有 □ 無 ③食品の備蓄 □ 有 □ 無 ④他施設との連携 □ 有 □ 無					

管理栄養士、栄養士の人数に  
変更が生じたら変更届を提出。

※雇用形態  
(×保持している資格ではない)

・夕食は設定しているが、報告月は  
提供していないとき:合計金額には  
計上しない。  
・離乳食数は合計  
数に計上しない。

	食数及び食材料費	
	定食	離乳食
朝食	食	円
昼食	120 食	450 円 3 食
補食	1 食	30 円
夕食	0 食	300 円
合計	124 食	480 円
再掲	職員食 20	食

(頻度: □ 毎日 □ 整数回/月 □ 整数回/年)

□ 実施していない □ 実施している □ 実施していない

嗜好調査:「保育園 嗜好調査」と検索すると具体例がでてくる。

該当する□に”✓”		V 給食の概要				
1 給食の位置づけ		□ 利用者の健康な体づくり □ 望ましい食習慣の確立 □ 十分な栄養素の摂取 □ 安価での提供 □ 楽しい食事 □ その他( )				
1-2 幼児の健全な発育発達に給食が機能しているか		□ 十分機能している □ まだ十分でない □ 機能していない □ わからない				
2 給食会議		□ 有 (頻度: 整数 回/年) □ 無				
2-2 有の場合		構成委員 □ 施設長 □ 管理栄養士・栄養士 □ 調理師・調理担当者 □ 保育士・教諭 □ 看護担当者 □ その他( )				
3 衛生管理		衛生管理マニュアルの活用 □ 有 □ 無 衛生点検表の活用 □ 有 □ 無				
4 非常時危機管理対策		①食中毒発生時マニュアル □ 有 □ 無 ②災害時マニュアル □ 有 □ 無 ③食品の備蓄 □ 有 □ 無 ④他施設との連携 □ 有 □ 無				

\*裏面へ⇒

施設名

裏面 の左上に施設名

給与栄養目標量を作成している種類の数  
1~2歳の目標量、3~5歳の目標量を作成していれば、  
2種類

○給与栄養目標量を設定している食事  
(ほとんどの園は、昼食+おやつ)  
✗ 提供している食事の種類

1 対象別に設定した給与栄養目標量の種類  種類  作成していない

2 給与栄養目標量の設定対象の食事  朝食  昼食  夕食  補食  おやつ

3 給与栄養目標量の設定日 1年に1回は作成するようにしましょう。 年 月 1歳~2歳または3歳~5歳

4 給与栄養目標量と給与栄養量(最も提供数の多い給食に関して記入) 対象:年齢 年歳~歳 性別

× 幅記載

エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			食塩 相当量 (g)	食物繊維 総量 (g)	炭水化物 エネルギー 比率(%)	脂肪 エネルギー 比率(%)	たんぱく質 エネルギー 比率(%)
					A(μg)	B1(μg)	B2(μg)					
給与栄養 目標量												
給与栄養 (実際)												

整数か小数第0位かは  
食品成分表の数値の表  
示方法と同じ

月平均

炭水化物エネルギー比(%)  
=100-(脂肪エネルギー比(%) + たんぱく質エネルギー比(%))

”✓”を入れる

VII 栄養・健康情報提供

有  無 (有の場合は下記に記入)

栄養 ”✓”を入れる

エネルギー比から算出。

ポスターの掲示

給食たより等

脂 質(g)= 脂 肪エネルギー比(%) ÷ 100 × エネルギー(kcal) ÷ 9  
たんぱく質(g)=たんぱく質エネルギー比(%) ÷ 100 × エネルギー(kcal) ÷ 4

給食時間の ”✓”を入れる

栄養指導  
別紙に  
記載例

個別

脂肪エネルギー比(%)

= 脂 質 (g) × 9 ÷ エネルギー (kcal) × 100

たんぱく質エネルギー比(%)

=たんぱく質 (g) × 4 ÷ エネルギー (kcal) × 100

※小数第2位を四捨五入して小数第1位で記入

VIII 栄養指導

有  無 (有の場合は下記に記入)

有  無 (有の場合は下記に記入)

(栄養課題)

課題と評価  
別紙に記載例

最も提供数の多い給食

=1歳~2歳児と3歳~5歳児と比較し、  
人数(提供数)の多い給食の月平均を算出

X 東京都の栄養関連施策項目(最も提供数の多い給食に対して記入)

(VI-4の食事について記入)

提供量

野菜の一人当たりの提供量(1食)

整数

果物の一人当たりの提供量(1食)

整数

XI 委託

X 東京都の栄養関連施策項目(最も提供数の多い給食に対して記入)

名称

(VI-4の食事について記入)

提供量

電話

野菜の一人当たりの提供量(1食)

g

委託内容

果物の一人当たりの提供量(1食)

g

献立作成

算出していない→斜線  
提供していない→ “0”g

食器洗浄

作成者

所属

直営:保育園名

委託:委託会社名+保育園名

氏名

電話

職種:  管理栄養士  栄養士  調理師  その他( )

保健所記入欄 特定給食施設・その他の施設(施設番号) )

委託契約内容の書類整備 :

有  無

健康増進法第21条による管理栄養士必置指定  有